

転倒を防ぐ

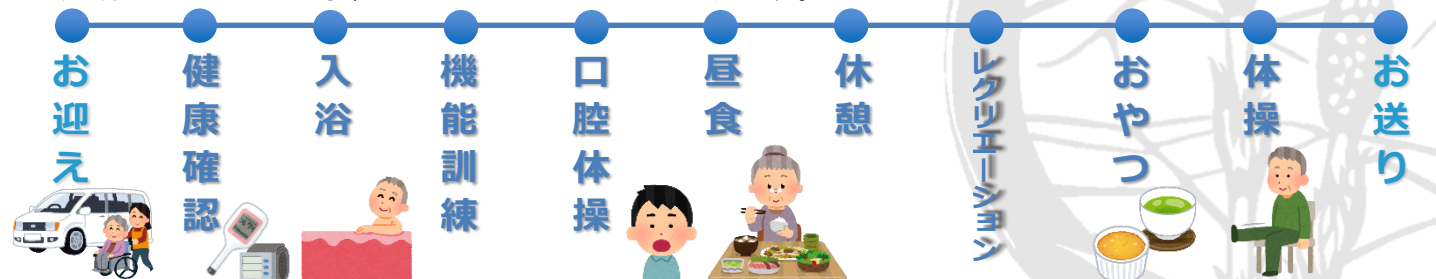
高齢者が転んで骨折、それきり寝たきりになってしまった・・・このような話を皆さんも1度は聞いたことがあると思います。転倒を防ぐには予防が重要となりますので、歩けるうちは歩いて生活の中で運動機能低下を防いで行くことが一番身近です。外では、お友達と散歩を楽しんでいたり、ストックを両手にウォーキングに励んでいる人をよく見かけます。ここで皆さんへお願いがあるのですが、歩いている人に後ろから声を掛けないで欲しいのです。呼ばれて振り向く際にバランスを崩して転ぶことがあるからです。介護現場では声掛けの基本として、必ずその人の視界に入るよう正面から声をかけます。

また、「危ない!」「やめて!」と行動を止めるような否定的な言葉は体をこわばせますし、例えば本人にかけた声ではなくても大きな声や音に驚いて姿勢を変えてしまい転倒する危険がありますので注意が必要です。高齢者にとって「歩く」ことは日常生活において当たり前ではなく「自分の足で歩く!」と言うような願望や目標に近く、歩くことが喜びとなっているのではないのでしょうか。周りの人の少しの配慮が高齢者の転倒を防ぎ「自分の足で歩く!」目標への応援に繋がるかも知れません。(松)

土筆・土筆の郷 各サービスのご紹介

▼デイサービス

庭が見える明るく広いテラスで日光浴をしながら、歌を唄ったり、お話をしたり笑顔が沢山の時間を過ごすことができます。レクリエーション活動や季節に合った外出行事、入浴、機能訓練、口腔ケアなど、いろいろなサービスを提供しております。スタッフ一同、ご利用者様一人一人の生活を大切にしながらお手伝いさせていただきます。



スタッフ募集 土筆の花言葉「意外」「驚き」「向上心」

土筆は、利用者様や入居者様一人ひとりに寄り添い、介護が必要になっても、住み慣れた地域で安心して生活が出来る施設を目指しています。また、託児所が併設されているので、ご家庭に小さいお子様がいらっしゃる方も安心して短時間でも働く事が出来ます。土筆では、60歳を過ぎた方も現場で活躍しています。まだまだ現役で働きたい方、介護に興味のある方、私達の仕事を見学に来ませんか？お問い合わせだけでも大歓迎！まずはお気軽にお問い合わせください。(担当：小野)

■介護員（正社員・パート）

- ・小規模多機能型居宅介護
- ・グループホーム

■ホームヘルパー（パート）

- 資格・普通自動車運転免許
- ・介護職員初任者研修修了者または、ホームヘルパー2級以上 いずれか

福祉・介護の資格は必要ありません！
資格取得を目指す方のお手伝いも致します。

(有)ケア・コラボレートK・H

介護保険事業所 土筆

<http://tukushi-t.jp/>

〒073-0024

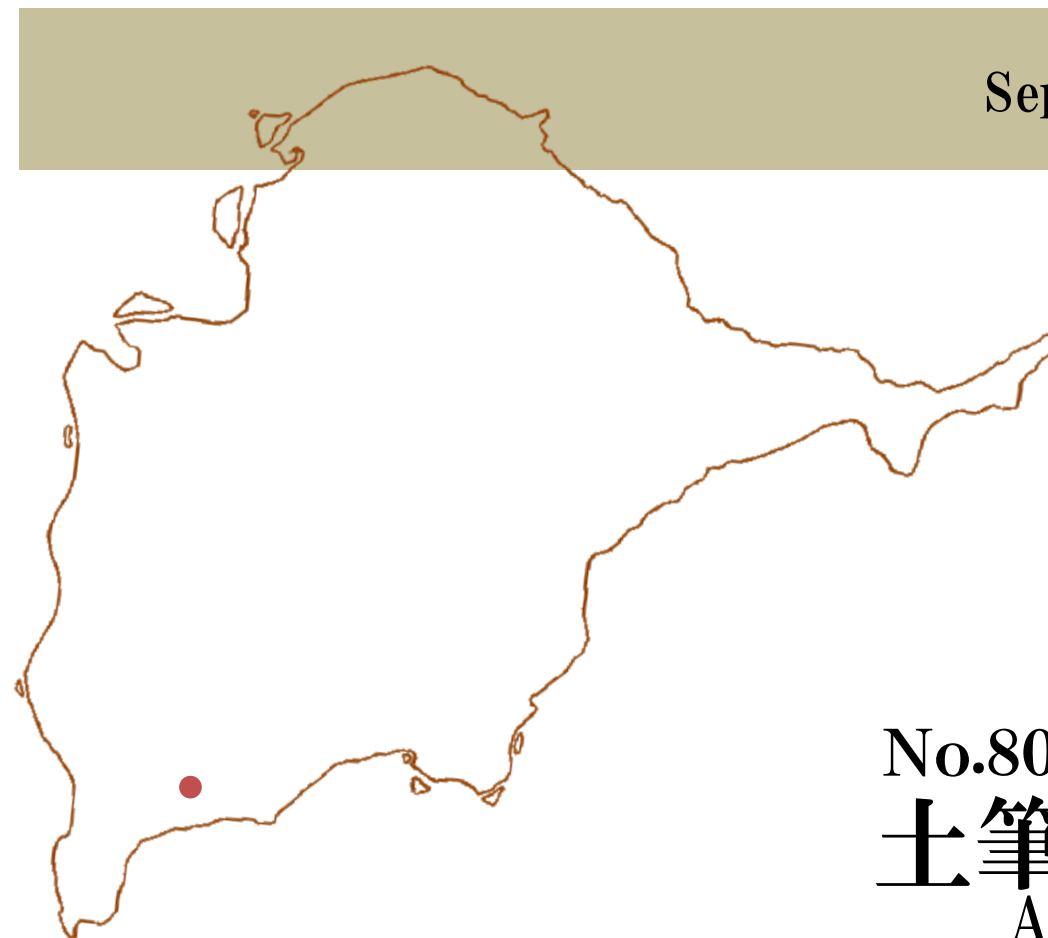
滝川市東町4丁目2番11号（土筆の郷）

☎ 0125-26-0294

FAX 0125-26-0200



September 2023



No.80 土筆広報誌 Autumn news

▼土筆の庭で♪(サービス付き高齢者向け住宅)



ひまわり見学



小規模多機能では、砂川へひまわり見学に行ってきました。太陽に向かって咲くひまわりから元気を頂きました。また、ひまわりの壁飾りを貼り絵で作成しました。折り紙を重ねて貼り、表情豊かなひまわりが室内にも咲いています。

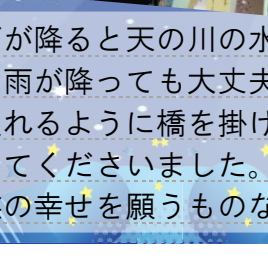
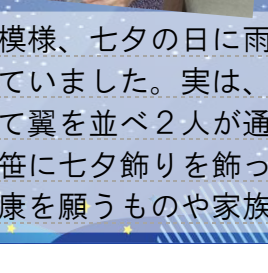
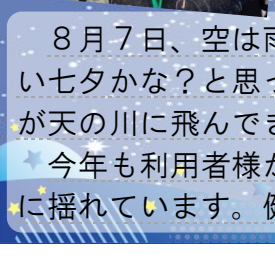
夜になっても気温が下がりにくく、寝苦しい日が続いたかと思うと急に涼しくなったりと夏バテしないように体調管理が大変な毎日です。土筆では、北海道の短い夏を楽しむ行事を行いました。一部をご紹介します。



たなばた



グループホーム



8月7日、空は雨模様、七夕の日に雨が降ると天の川の水かさが増して今年は、織姫と彦星が会えない七夕かな？と思っていました。実は、雨が降っても大丈夫なのだそうです、数えきれないほどのカサカガが天の川に飛んできて翼を並べ2人が通れるように橋を掛けてくれるとの事です。

今年も利用者様が笹に七夕飾りを飾ってくださいました。たくさんの願いをこめた短冊が色とりどりに揺れています。健康を願うものや家族の幸せを願うものなど、皆様の願い事が叶いますように！！

サービス付き
高齢者向け住宅



託児



小規模多機能

デイサービス

畑のやさい

(土筆全事業所)



土筆の畑では、夏野菜の収穫が盛んです。グループホームでは、たくさん採りたいんげんの筋とりをしてくださっていました。小規模多機能では、毎日収穫されるきゅうりで漬物を漬けているそうです。何漬けにしているのかお聞きしたところ、みそ、酒粕、からし、塩昆布などたくさんの種類を教えてくださいました。塩もみきゅうりやゆかりと和えた、和え物など、昼食の添え物として利用者様と一緒に作った一品を楽しんでいるそうです。採れたての野菜は、栄養価も高く美味しいと評判です。



土筆の庭

(サービス付き高齢者向け住宅)



土筆の庭では、春から利用者様と一緒に育てたバラやあじさい、種から育てたひまわり、マリーゴールド、苗の植え付けを行ったサルビア、ペチュニアなど、様々な花が見ごろを迎えています。夏の庭をサービス付き高齢者向け住宅の利用者様と一緒に散歩しました。ひまわりの花壇やばらの花壇など、満開に咲き誇る花の前で記念撮影を行い、花壇だけではなく、畑の野菜やブドウ棚を見て回りました。天候に恵まれ、会話もはずみ、とても楽しいひとときとなりました。



9月1日は防災の日

日本は、これまでも数々の大災害に見舞われて来ました。歴史上の大きな地震災害のひとつとして記憶されているのが1923年の9月1日に発生した関東大震災です。この災害を忘れずに災害の備えをしっかりと行おうと9月1日を「防災の日」として制定しました。北海道でも、2018年9月6日に胆振東部地震が発生し、この時期は、台風が多く災害が発生しやすい時期です。今回は、防災の日にしておきたい3つの事をご紹介します。

① 防災グッズを確認する

飲料水、食料品は3日分が目安です。水は1人あたり1日3リットル、食料は、乾パンやビスケット、缶詰、インスタント食品、レトルト食品など常温で長期保存できるものを用意します。好きな食べ物や食べて美味しいと思うものを備蓄しておくことで災害時のストレスを少しでも和らげる効果が期待できます。また、数日分の予備薬や保険証、薬手帳のコピーを入れておく安心です。



② 最新の防災情報をチェック

防災に関する情報が古いと、いざという時に役に立ちません。自治体の防災課やホームページ、国土交通省ハザードマップポータルサイトなどから防災マップやハザードマップを入所し避難場所、避難経路を事前に確認しておきましょう。



③ 災害時の連絡手段を再確認

お互いが離れた場所に居る時に災害が発生した場合でもお互いの安否を確認できるよう安否確認や集合場所を事前に話し合っておきましょう。災害時には携帯電話の回線がつながりにくく、連絡が取れない場合もあります。



災害用伝言ダイヤル

局番なしの「171」に電話をかけると伝言を録音できます。自分の電話番号を知っている家族などが伝言を再生することができます。